

蒲郡市男女共同参画情報紙

はばたき

特集●市議会議員の皆さんに、
男女共同参画について聞きました



「いい明日は 仕事と暮らしの ハーモニー」

(平成19年度 男女共同参画週間標語)

第12号

2007.9

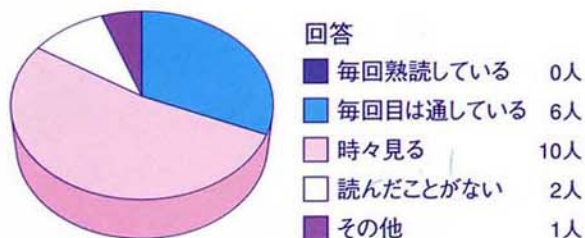
特集

市議会議員の皆さんに聞きました ～議会にも男女共同参画の風を～

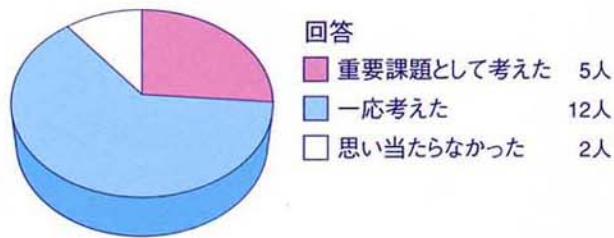
蒲郡市では、男女共同参画社会推進のため、平成13年3月に「蒲郡市男女共同参画プラン（男女性いき蒲郡）」を策定しました。男性と女性がともに共生し、人権を尊重しあい、豊かで多様性のある地域社会実現をめざしています。

今回は、市議会議員の皆さんに男女共同参画についてのアンケートにご協力をいただきましたので、その結果をご報告します。

Q 蒲郡市男女共同参画情報紙「はばたき」を読んだことがありますか。



Q 市議会議員選挙への立候補にあたって、「男女共同参画社会」という言葉を考えましたか。



Q 「はばたき」には、毎回特集記事と関連情報を掲載しています。印象に残っている記事がありましたら、感想とともにご記入ください。

- ・ジェンダーチェック（第1号～第4号／平成14年3月発行～平成15年9月発行）
- ・仕事と家庭の両立についてのアンケート（第5号／平成16年3月発行）
- ・子育てのしやすいまちをめざして（第11号／平成19年3月発行）



Q 家庭内で実行している「男女共同参画社会」をご記入ください。（複数回答可）

- ・ごみ出し
- ・掃除
- ・洗濯
- ・介護
- ・食事（かたづけ、調理、買い物）
- ・子育て（宿題をみる、風呂に入れる、子どもの送迎、参観日への参加）
- ・地域活動（どぶ掃除、公民館・子ども会・PTA活動への参加、防災・防犯パトロール）

Q 近隣の市町では女性議員が増加しましたが、蒲郡市で少ないのはなぜだと思いますか。

- ・女性に限らず、市民に議会の活動が広く伝わっていないのでは。もっと興味や関心を持っていただくことが必要
- ・蒲郡が保守的な空気が強く、女性が出ることへ風当たりが強いのではないか（すばらしい女性がたくさんいるのに残念）
- ・男性に溶け込み難い
- ・女性が立候補する場合の支援体制作りが難しい
- ・政治参加への意識の高まりが低い
- ・蒲郡は封建的である（その他意見多数）



育児休暇(男性も含む)について、どのようにお考えですか。

- ・積極的に活用し、育児をすべき
- ・雇用者、労働者の双方が当然の権利として認識して、活用しやすい環境を整えることが急務
- ・すべての職業で必要だと思う。無給ではなく、国からの支援で経済的援助が必要
- ・まだ男性が取れる環境ではないように思われ、社会がそのようにならない

(その他意見多数)



少子化といわれて久しいと思いますが、改善するにはどのようにしたらいいと思いますか。

- ・子育て不安、リスクを社会全体として軽減する対策をとること
- ・安心して産める環境づくり、分娩費の援助など(3人目から)
- ・経済的な負担を軽くすること
- ・女性ばかりが子育ての責任を持つのではなく、男性も一緒にできるよう労働時間を短縮する
- ・子育て支援策の拡充
- ・児童手当・医療費・教育の充実

(その他意見多数)



子育てのしやすい街にするためには、どのような施策が必要だと思いますか。

- ・医療費無料制度の拡大など子育ての経済的負担の軽減
- ・相談窓口の増設
- ・不妊治療の助成、妊婦検診の無料化
- ・企業の子育てに対する理解
- ・保育園の保育時間の延長
- ・ファミリーサポートセンターの充実
- ・児童クラブ、児童館の充実
- ・障害児への支援
- ・独自の奨学金制度
- ・地域のつながり、人々のつながりを強める

(その他意見多数)



市議会議員として、「男女共同参画社会推進」は、何から、どこで実行できると思われますか。

- ・男女共同参画推進グループを市につくる。推進工程表の作成・実行
- ・さまざまな会議に女性に出席してもらう
- ・男性と女性の意見を聞き、それぞれの立場になって考える
- ・女性、若者の政治意識向上、啓発
- ・さまざまな場面で市民の生の声を聞き、機会あるごとにとりあげていく
- ・PTA、子ども会など、地域の役員を男女差別なく選出していく



(その他意見多数)



82,000人の市民に対して、市議会議員としての決意(市政全般に対して)をお聞かせください。

- ・市民が安心して、安全に暮らせる街づくり
- ・子どもが安心して育てられる街づくり
- ・一人でも多くの市民の意見を聞く
- ・自然と共生できる街づくり (その他意見多数)



アンケートの結果から

地域性もあってか、女性の進出が難しいところがあるようです。行政の環境の充実も大切ですが、一人ひとりの意識の持ち方も考えていく必要があると感じました。その一方で、昨年度には、愛知県の「ファミリー・フレンドリー企業認証制度」に市内の企業が初めて認証されるなど、少しずつ男女共同参画に対する意識が変化してきていることも感じられました。



子育て支援ガイドブック

これからお子さんを生み育てていく方のために、妊娠してから、成長していくお子さんに合わせて、受けられる子育て支援の制度や利用できる施設などをわかりやすくまとめた、「子育て支援ガイドブック にこにこ」を平成19年3月末に児童課が作成しました。母子健康手帳の交付や、お子さんの健康診查のときに配布しています。転入される方には、市民課窓口でも配布しています。

配布場所＝児童館、児童課、保健センター、市民課



父子手帳 お父さんの子育てメモリー



今年4月より、愛知県では、新生児の父親を対象にした「父子手帳お父さんの子育てメモリー」の配布を行っています。

この手帳は、これまでのお母さんを対象とした「母子健康手帳」のお父さん版。父親を対象とした手帳の配布は、全国では栃木県につづき、2番目。

内容は、子育てに関する基礎知識や子どもの成長の思い出などが記入できるようになっており、すでに、子育て中の方でも、希望により配布されます。

父子手帳の内容は、県の子育て支援課ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/kosodate/>)でも閲覧できます。

詳しくは、豊川保健所蒲郡支所(☎69-3156)へ。

はばたき 第12号

2007.9

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行／蒲郡市 企画広報課
編集／「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

■TEL 0533-66-1145 ■FAX 0533-66-1190

■Eメール kikaku@city.gamagori.lg.jp

「蒲郡市男女共同参画プラン」や「はばたき」も一般に十分認知されていない状況の中、市議会議員の皆さんの男女共同参画社会実現への関心についても、福祉施策や教育問題と比べると、まだまだ高くないように思われます。プランも7年目に入り、見直し時期に入っています。蒲郡市の男女共同参画社会が進んでいくように、市議会議員の皆さんが協力して下さることを期待しましょう。

編集後記